

2015 発見！酒田みなとの探検隊を 開催しました



※文中の写真は、解像度を下げる等、個人を識別できないように加工しております。

7月11日（土）に、山形県内の小学生とその保護者約60名が参加し、「2015 発見！酒田みなとの探検隊」が開催されました。山形県港湾事務所、山形県港湾協会、NPO法人酒田港女みなと会議の3団体が主催し、当事務所が共催したイベントで、今年も同じメンバーでの企画となりました。

最初に、当事務所が“港の先生”となり、「みなとの学習」として、港のつくられ方や防波堤の役割などを説明しました。大人も興味を持てる内容だったとの感想もいただき、酒田港のつくられ方や貿易港としての役割について理解を深めてもらえたと思います。

海洋センターの展示物を見学した後は、酒田港外港地区にある大浜海岸に移動し、防波堤の効果により海面が穏やかになっていることを、カヤック乗船を通じて体感してもらいました。途中、コンテナ貨物船や大型客船「にっぽん丸」が航行している様子を近くで見られるなど、港や海に親しみながら楽しい時間を過ごしました。

夕方からは、一般応募者を交え、当事務所が担当した船内放送による解説を聞きながら酒田港内を定期旅客船「とびしま」から見学しました。入港していた石炭船やにっぽん丸などの大型船の横を通過することで、その大きさをより実感できたなど、見どころの多い航海になりました。

終了後のアンケートでは、「酒田港のことが良く分かった」「また来年も開催してほしい」などの感想をいただいたことから、皆さんに楽しみながら酒田港を知ってもらえるイベントになったようです。

酒田港湾事務所では、防波堤の整備等によって、より使いやすい港となるように努めるほか、今回のような酒田港を知る機会を提供していきたいと考えています。



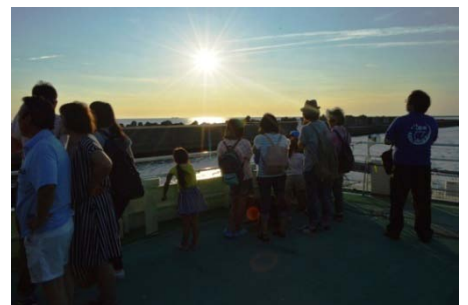
海洋センターにて「みなと」の学習



にっぽん丸をバックに、カヤック乗船



石炭船の大きさにビックリ



夕日を眺めながら酒田港を一周

